

令和2年度からスタートします

「桐生市第六次総合計画」

「第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

基本構想 (8か年：令和2～9年度)

将来都市像 (目指すべきまちの姿)

「感性育み 未来織りなす 粋なまち桐生」

基本テーマ (理念)

“感性”を育む人づくり／“つながり”を生かしたまちづくり

目標

- 目標とする将来人口の達成：「桐生市人口ビジョン」に準拠し、令和5年に約105,000人、令和9年に約99,600人の維持を目指す。
- 市民の幸福実感度の向上：市民の皆さんが日々の生活の中でどの程度「幸せ」と感じているかを捉えた「幸福実感度」の向上を目指す。

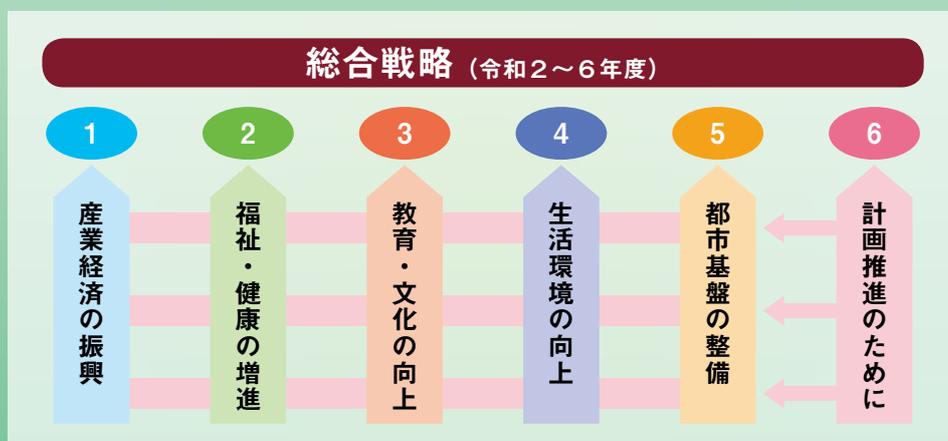
施策の大綱

将来都市像の実現、目標とする将来人口の達成、市民の幸福実感度の向上を目指し、6つの施策の方向性の下、41の行政分野の施策を展開します。

また、持続可能なまちづくりに取り組む本計画を推進することで、現在、世界中で取り組みが進むSDGs (持続可能な開発目標) ※の達成につなげます。

※SDGsの概要は、裏表紙で紹介いたします。

基本計画 (前期4か年：令和2～5年度／後期4か年：令和6～9年度)



実施計画 (事務事業) (基本3か年：毎年度ローリング方式により見直し)

総合計画イメージ図



企画課 伊藤主事

市民の皆さんへ

計画は、つくることよりも、その内容を実現していくことが重要です。次号から、具体的な実施内容を紹介します。一緒に新たなまちづくりを進めていきましょう。

20年、30年先の未来を見据えた持続可能な発展を目指し、中長期的な視点に立って総合的かつ計画的にまちづくりを進めるとともに、桐生市の最重要課題である人口減少対策を引き続き推進します。計画の策定に当たっては、まちづくりに関わる各種団体の代表者と公募委員などで構成する桐生市総合計画審議会と、桐生市総合戦略推進委員会、また、市民の皆さんに貴重なご意見をいただきました。各計画書は、市ホームページのほか、新里・黒保根支所、各公民館でもご覧いただけます。問い合わせは企画課企画戦略担当（☎内線525）

総合計画とは？

「桐生市総合計画条例」において、市におけるまちづくりの指針として、個別の行政分野に関する様々な計画が整合を図らなければならない、市の最上位計画と位置づけられています。



企画課 小松主任

将来都市像

このまちには、長い歴史と伝統に培われた独自の文化や、潤いある豊かな自然環境など、さまざまな魅力があふれています。また、ここに暮らす人々には、まちの発展を支えてきた先人たちの心意気や誇りが脈々と受け継がれています。

この恵まれた環境が住む人の感性を育み、感性がまちの魅力を高め、新たな未来を織りなしていく。そんな持続可能で、洗練された「粋なまち桐生」を目指します。

将来都市像の実現に向けたまちづくりの基本テーマ（理念）

1. “感性”を育む人づくり

新たなまちづくりを進めるには想像力あふれる人たちの力が必要であり、想像力を養うには人の心や自然、物事の本質を敏感に捉えることができる感性が重要です。桐生市にはその感性を育み、磨くための優れた環境があります。豊かな自然をはじめ、織都1300年の伝統と歴史、それとともに発展してきた独自の文化と産業、そして教育。桐生市は、まちの“宝”であるこれらの“本物”の魅力を生かし、感性豊かで世界に羽ばたく人材を育てる、“感性”を育む人づくりに取り組みます。

2. “つながり”を生かしたまちづくり

将来都市像を実現するためには、桐生市に関わるあらゆる“ひと”が力を合わせる必要があります。

一人ひとりが“自分ごと”として、まちを想い、関わり、協力し、共創する。桐生市は、市域を越えて、人と人、公と民、地域と地域、さらには人と自然、過去と未来など、さまざまな“つながり”を生かしたまちづくりに取り組みます。

総合戦略とは？

まち・ひと・しごと創生法に基づき、人口減少克服・桐生ならではの地方創生に向けた施策をまとめた計画です。第2期総合戦略の各施策を第六次総合計画の重点施策とし、両計画を一体的な計画として策定しました。



企画課 馬場主任

総合戦略は、以下の4つの基本目標の下、具体的な施策を推進していきます。

「基本目標1」しごとづくりに関係する施策

「基本目標2」移住・定住・交流関係の施策

「基本目標3」子育て環境や教育の充実に関係する施策

「基本目標4」まちづくりに関係する施策